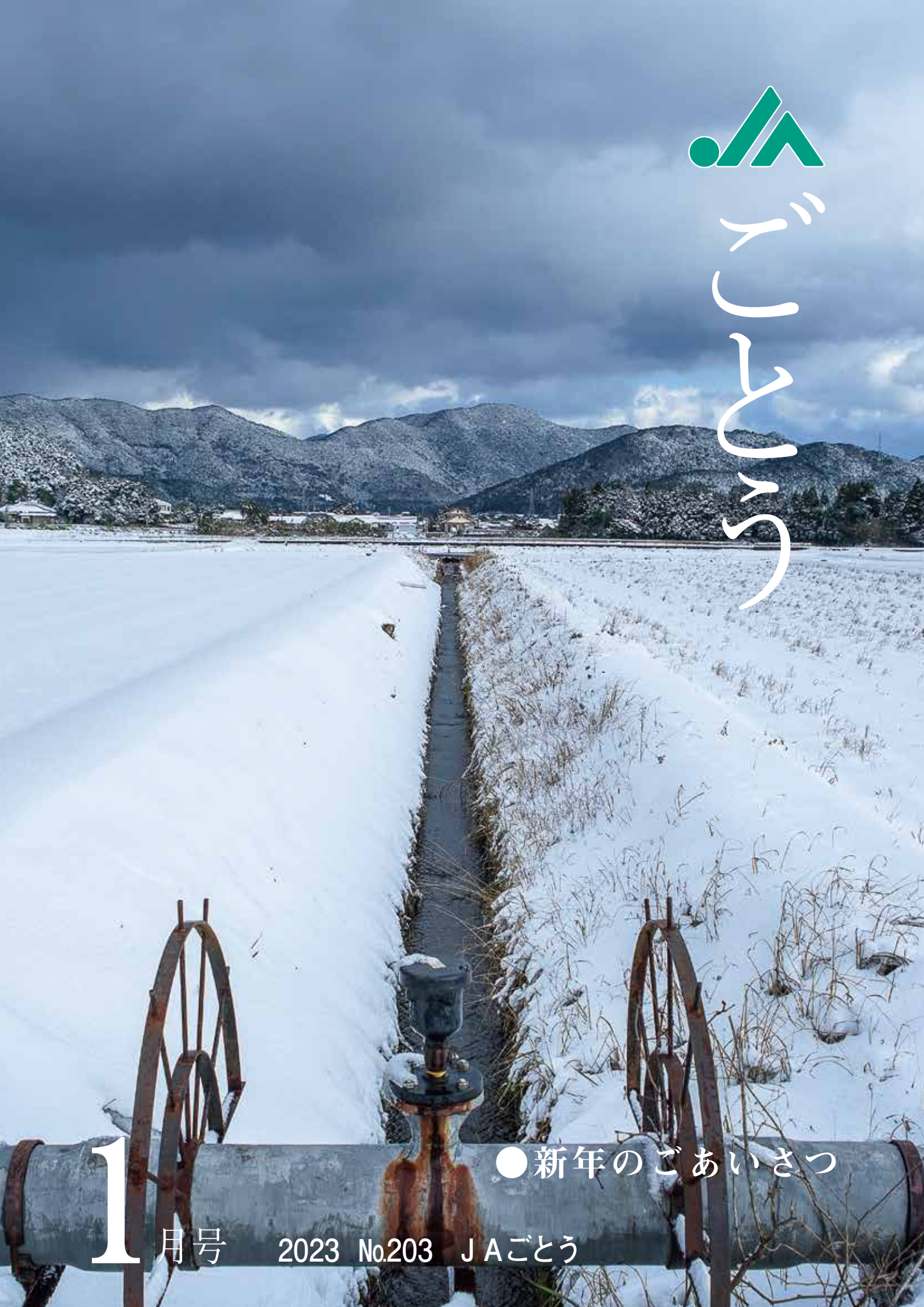




JAごとう



●新年のごあいさつ

1

月号

2023 No.203 JAごとう

迎春

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

組合員ならびに地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃よりJA事業、運営に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は未だ続くコロナ禍の中、ロシアによるウクライナへの侵攻が始まったことにより、燃料などの生活物資や肥料などの生産資材の高騰が著しく、農家の皆様の経営圧迫はもちろん、地域の皆様方にとっても生活への影響は多大なものとなっております。この様な中で、組合員や地域の皆様との繋がりである「相互扶助の精神」の重要性を再認識すると共に、JAのごとうとしてしっかりとその役割を担い責任を果たして参ります。

特に、今年度より取り組んでいます第6次中期経営計画の着実な実践を通じ、農業と地域社会に根差した組織と

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしますと共に、本年もJA事業になお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事組合長

家永 嘉弘

代表理事常務

杉本 甚喜

代表理事常務

安田 宏

理事

熊川 甚一

理事

山本 浩

理事

佐々野勝弥

理事

青山 一美

理事

平 康明

理事

田口 勇

理事

貞方 茂

理事

木戸 光昭

理事

角田 隆章

理事

今里 誠一

理事

山村 徳郎

理事

増田 博

理事

本谷 俊行

理事

舛田 好伸

理事

寺脇 政善

理事

谷合千鶴子

理事

前田須磨子

代表監事

友岡 正庸

常勤監事

嶋里 卓見

監事

山内 清一

監事

松下 充

監事

小賀半四郎

して「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の三つの実現に向けてより一層邁進する所存でございます。

日夜、組合員の皆様方が地域農業を守るために努力されている姿に敬意を表すと共に、J・A・ごとうも組合員・地域の皆様方と共に五島農業の発展に向けて役職員一丸となり努力して参ります。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、農協経営に対しご指導ご協力をお願い申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長

家 永 嘉 弘

結ぶ地域の輪、とどけよう五島の恵み

下地区



大盛況となった餅まき

下地区では十一月二十六日・二十七日の二日間、第二十二回となるJAごとう農業まつりを開催しました。今年度は「結ぶ地域の輪」とどけよう五島の恵みをキャッチフレーズに、組合員による農産物即売や青年部による露店販売、精肉即売など、JAごとうの誇る農畜産物を多数展示。また、コロナ対策を十分に行ったうえで、三年ぶりとなるステージイベントや餅まきを開催。例年よりも気温が高く、好天に恵まれたこともあり多くの来場者で賑わいました。

ステージイベントも復活!!



少年少女合唱団



ロングワイヤージャンピングバトルで優勝した大浜少年柔道部



江頭つとむさん



倭寇太鼓



外国人労働者によるダンス



幼稚園の園児たち



5kgを目指せ! 目方でドン!



大人気のバルーンアート



みんな大好きごとうさん



3年ぶりの五島美豚・五島牛試食会



盛況だった精肉特売会

ざいました

第22回 J A ごとう 農業まつり

上地区

上地区では十二月四日に J A ごとう 農業まつりを開催しました。例年の会場と違う場所での開催となり客足への影響が懸念されましたが、多くの方に来場頂き盛況なまつりとなりました。上地区でもステージイベントが復活し、子供たちによる可愛いダンスや、上五島・有川中学校の吹奏楽部による合同演奏では、大勢のギャラリーで賑わいました。



ステージはなくとも
大盛況!



在宅ケアセンターの職員による龍踊



吹奏楽部の演奏



宇戸ダンススクールの皆さん



手腕を競う農産物コンクール



Aコープ特売に並ぶ行列



○×クイズ



ビンゴ大会

地域を守る!
ケアレンジャー!



多数のご来場
ありがとうございます

農産物コンクール

種 類	褒 賞	支 店	氏 名	種 類	褒 賞	支 店	氏 名
果菜類の部	五島振興局長賞	富江支店	塩 竈 信 夫	根菜類の部	五島市長賞	西部支店	水 浦 桂 美
	全農長崎県本部賞	富江支店	藤 野 周 一		金賞	富江支店	谷 合 千鶴子
	金賞	富江支店	本 村 元			崎山支店	(株)山内ファーム
		富江支店	藤 野 周 一			本山支店	橋 詰 ユミ子
		富江支店	三 谷 勲		銀賞	本山支店	橋 詰 好 廣
	銀賞	三井楽支店	川 端 美知代			崎山支店	(株)山内ファーム
		三井楽支店	萩 里 博 幸			西部支店	山 田 愛 子
		崎山支店	平 道 俊 之		銅賞	福江支店	山 本 浩
	銅賞	崎山支店	五島のやあしや便			本山支店	寺 脇 丈 敏
		西部支店	深 松 洋 子			福江支店	山 本 浩
葉菜類の部	金賞	本山支店	五島パブリカ	果樹・花卉の部	金賞	福江支店	山 本 浩
		富江支店	田 原 和 行		銀賞	富江支店	古賀野 忠 弘
		西部支店	小 島 兼 男			富江支店	片 町 美津枝
	銀賞	崎山支店	五島のやあしや便		銅賞	西部支店	平 野 万寿美
		西部支店	松 山 憲 一	穀類の部	金賞	西部支店	近 藤 茂 八
		崎山支店	五島のやあしや便		銀賞	三井楽支店	馬 場 仁 志
	銅賞	富江支店	大 山 政 隆			西部支店	木 戸 庄 吾
		富江支店	増 田 忠 昭		銅賞	西部支店	近 藤 茂 八
		崎山支店	中 山 咲 子			西部支店	柳 野 達 治

お弁当コンクール

金賞



金賞の谷合亜佑子さんの弁当

長女の為に作りました。開けたら笑顔になれるようなお弁当にしたかったです。お弁当となると野菜を摂るのが難しくなるので、生春巻きにすることで食べやすく栄養面でも少しホッとすると、そんなお弁当です。

銀賞



銀賞の町野吟子さんの弁当

主人のお昼の弁当です。小さいかまぼこを一本作り、上手く出来良かったです。

銀賞



銀賞の馬場寄奈津子さんの弁当

主人の為に愛情タップリで作りました。にぎりの卵とのりが上手に出来ませんでした。

褒 賞	支 部	氏 名
金 賞	富江支部	谷 合 亜佑子
銀 賞	三井楽支部	町 野 吟 子
	福江支部	馬場寄 奈津子
銅 賞	三井楽支部	濱 里 知以子
	三井楽支部	月 川 君 枝
アイデア賞	富江支部	谷 合 千鶴子
	西部支部	大 坪 幸 子
奨 励 賞	三井楽支部	浜 村 マキ子
	西部支部	山 田 伸 子
	福江支部	小 村 洋 子

受賞された皆さまおめでとうございます！

東京のアンテナショップで 販売会を開催

J Aごとうの産直市場「五島がうまい」は、十二月十日、十一日の二日間、東京都中央区日本橋にある長崎県のアンテナショップ「日本橋長崎館」において、J Aごとう単独開催となる物産展を開催しました。特産品展示販売会「五島がうまい」と題された同展は、全国的に五島への注目が高まっていることから、これまで同様に地産地消を推進するとともに、国産国産の観点へ

も目を向け、島外発信も行うことで更なる地域農業への寄与を目的として開催されました。

J Aごとうの誇る農畜産物や五島の特産品などを販売した同展は、朝ドラ「舞いあがれ!」の影響もあってか来客は非常に多く、十日、十一日の両日も息つく間もないほど大勢のお客様が来場し、商品を手にとっていかれました。中でも「五島」の名を冠する、J Aごとうの主力商品である「五島牛」、「五島美豚」、「五島ルビー」の人気は高く、同展においても売れ筋のTOP3となっています。



たくさんのご来場
誠にありがとうございました



決意新たに

— 肉用牛生産振興大会 —

十二月十三日、J A ごとう肉用牛生産振興大会が家畜市場で開かれました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて三年ぶりの開催です。

軟調な子牛の取引相場の一方で不安定な国際情勢による燃油や飼料等の資材高騰が続く厳しい状況の中で、集まった生産者は五島地区の基幹産業である肉用牛の振興と活性化を目指すことを改めて誓い合いました。

一年一産への取組み

大会では有限会社大西海ファーム取締役場長の山田康弘氏が「IT機器を利用しての分娩間隔の短縮について」と題し講演。

持続可能な肉牛経営は分娩間隔の短縮で一年一産を達成することで所得の増加につながるとし、適切な飼料給与や的確な発情の把握と適切な人工授精を実践。飼養管理や発情発見にはク



一年一産の重要性を話す
(有)大西海ファームの山田康弘氏

ラウド型牛群管理システムを、さらに遠隔操作監視カメラを導入して分娩室を見守り事故低減にも努めている。システムのデータも全職員で共有。繁殖成績を見極め問題のある牛には獣医師の診察や治療を受けるなど徹底していると述べられました。

生産者を代表した決意表明では、ごとう農協肉用牛部会の川崎善一部会長が振興計画のもとで出荷頭数四〇〇〇頭を目指すとし力強く表明されました。

次世代の種雄牛に向けて

大会に先立ち五島和牛育種組合による現地検討会が



今回調査された基礎牛と「晴太郎」の産子牛

開かれ、産肉能力に優れた雄牛の生産に必要な母体となる基礎牛と長崎県が推奨する種雄牛「晴太郎」の産子の調査が行われました。

会場に基礎牛三頭、産子牛八頭が並ぶと調査員が牛体の測定値を基に体高や体幅、肉付きなどを一頭ずつ確認しました。

講評の中で調査員から「今回は基礎牛であると同時に遺伝的能力の高い育種牛の認定も視野に入れて調査しました。五島牛の特徴を持つた牛を次の世代にどのような牛を次の世代にどのような牛に繋いでいくかが大事で、基礎牛と育種の認定牛を合

雌子牛高額販売表彰者

順位	地区	生産者	せり月	せり価格
1位	三井楽	馬場信之	1月	1,074,000 円
2位	山内	(株)山口Farm	7月	1,041,000 円
3位	山内	(株)山口Farm	3月	1,035,000 円

去勢子牛高額販売表彰者

順位	地区	生産者	せり月	せり価格
1位	崎山	山中秀雄	1月	1,342,000 円
2位	崎山	堀里淳一	1月	1,285,000 円
3位	富江	岩谷良貴	3月	1,208,000 円

致させて種雄牛を造成していくことが重要」とし「五島では種雄牛の世代が少々古いため種雄牛が全盛の内に保留牛を確保して基礎雌牛や育種牛に育ててもらえば改良のスピードも上がるでしょう」と話されました。



決意表明をする
川崎善一部会長

ブロッコリー部会出荷会議

管内の栽培戸数は四八戸、栽培面積は二四畝で、本年度は約八五万玉の出荷販売を計画しています。

田原和行部会長は「市場の支えや配慮に感謝しています。病虫害防除や圃場管理に



品質の向上に努めたいと話す田原部会長

努めて品質の向上と収量の増加を図り期待に応えていきたい」と話しました。

高菜の出荷目揃え会

用意された高菜の現物を前にJAの担当職員から一株の重さや病害虫の被害の有無などによる品質の規格や収穫、搬入にあたっての注意点などが説明されると、集まった部会員の方々は現物認していました。

目揃え会に先立ち十二月三日、高葉収穫機の実演会が五島市坂の上にある七岳ファームの圃場で行われました。



作業の省力化が期待される高菜収穫機

現在、高菜の収穫はほとんどが手作業。さらなる改良が施され作業の省力化と効率化が期待されます。



ほめられかぼちゃ生産計画

国産野菜への消費者のニーズに応えるべく始まった日本列島産地リレー「ほめられかぼちゃ」。産地が本州から北海道に移行する六月から七月にJ・Aごとくが出荷を始めています。

「ほめられかぼちゃ」は、品質基準の糖度十二度以上、水分含有率七五%以下という「ほめられ基準」をクリアしたもののだけがこの称号を与えられます。

出荷契約先のMVM（エム・ヴィ・エム）商事株式会社の石田希世士代表取締役社長は「北海道から沖縄宮古島までの多くのかぼちゃ生産地の中でJAごとうのかぼちゃは『ほめられ率』がナンバーワンで、一番おいしいかぼちゃを



MVM 商事の石田社長（右）と
生産者の藤田三利さん

生産していただいている皆さんと共に頑張っていきましょう」と挨拶。

大谷豊部会長も「全国一の『ほめられ率』」で表彰されたのを機に三年計画で栽培面積二〇鈴の計画も来年にも達成できるよう取り組んでいきたい」と話しました。

JAでも五島における夏場の収益品目として産地確立に期待を寄せています。



青年部

盈進まつりでソバ打ち

十二月一日、盈進小学校で毎年の恒例イベントとなっている盈進まつりが開催され、児童らが打ったソバが振舞われました。同まつりは、児童・職員はもちろんのこと、保護者や地域の方々も招いて行う、地区の一大イベントとなっています。児童らの食農教育活動の一環として、JAごとうの青年部富江支部がソバを播種するところから指導しており、その締めくくりとなるイベントとあつて同支部の皆さんも招かれ、児童らと一緒に美味しいソバを頂きました。



女性部

料理教室を開催

JAごとうの女性部大津支部と上五島支部は、部会活動の一環として料理教室を開催しました。

九州電力のシヨールームで開催された大津支部では、オール電化のキッチンで作業を開始。材料を入れてメニューを選択すると料理を行ってくれる自動調理器も用いて、計七品の料理を調理しました。

上五島支部では家の光十二月号に掲載の、「頑張らなくても喜ばれる軽やかおせち」を参考に、計八品目の料理を調理しました。

どちらの支部の料理も良い出来となり、部員全員で舌鼓みを打っていました。



フレミズ

親子でケーキを飾りつけ

JAごとうのフレッシュミズ部会は十二月十七日に、部会活動の一環として親子教室を開催し、ケーキへのデコレーションを行いました。

午前の部、午後の部と二部構成で行われた同教室は、どちらの部も満員となる盛況ぶりとなりました。参加者はみな、用意されたスポンジの前に、どのようなデコレーションにしようかと嬉々とした表情を浮かべ、飾りつけを開始していききました。特に子供たちは、独創的な発想でひとつひとつの作業をとても楽しそうにこなしていました。



令和四年度第十回理事会

令和四年十二月二十二日(木)開催

次第

1 議案事項

- 議案 No. 1 監事監査規程等の一部変更について ※可決・承認された
- 議案 No. 2 令和四年度上半期監事監査指摘事項に対する回答について ※可決・承認された
- 議案 No. 3 固定資産の取得について ※可決・承認された
- 議案 No. 4 県有財産一般競争入札への参加について ※継続審議
- 議案事項 その他

2 報告事項

- 報告 No. 1 主な事業経過と行事予定について
- 報告 No. 2 主要事業十一月末計画と実績について
- 報告 No. 3 産直市場「五島がうまい」十一月末実績について
- 報告 No. 4 令和四年十一月末食肉販売実績について
- 報告 No. 5 令和四年十一月～十二月県内家畜市場市況について
- 報告 No. 6 令和四年度農業まつり合同展示会実績について
- 報告 No. 7 第二十二回JAごとう農業まつりの結果について
- 報告 No. 8 令和四年度第一回リスク管理委員会の結果について
- 報告 No. 9 令和四年度第二回営農生産委員会の結果について
- 報告 No. 10 令和四年度年度末見込及び次年度計画について
- 報告 No. 11 令和四年度第二四半期コンプライアンス・プログラム実施状況について
- 報告 No. 12 令和四年度第二四半期相談苦情等定期報告について
- 報告 No. 13 令和四年度第二四半期自主検査結果報告について
- 報告 No. 14 令和四年度第二四半期反社会的勢力排除対応管理先報告について
- 報告 No. 15 令和四年度第二四半期余裕金の運用状況について
- 報告 No. 16 令和四年度第四四半期余裕金の運用方針について
- 報告 No. 17 令和四年度第二回債権管理委員会の結果について
- 報告事項 No. 18 貸付金の実行について
- 報告事項 その他

各地で産業祭

JA青年部も出店

年末恒例の『五島の産業まつり』が市内各地で開かれ多くの来場者でにぎわいました。

JAごとうでも青年部のメンバーや職員らが五島の特産物や温かい食べ物で出迎え。

三井楽で青年部が前日から仕込んでいたアツアツのおでんを振舞えば、岐宿では五島牛や五島美豚の肉などを販売すると開店を待ちわびた人々で即完売。生憎の雪になった富江では特産の『五島ルビー』や『椿油』、『五島三菜』が店頭に並び来場者が寒さのなか買い求めていました。



12月11日 『三井楽産品まつり』



12月18日 『とみえ産業市』



12月17日 『岐宿町産業祭』

お客様 各位

JA ごとう岐宿給油所閉店のご案内について

JAごとう岐宿給油所は施設の老朽化等、諸般の事情により令和5年3月10日をもって閉店させていただきます。

永年のご愛顧、誠にありがとうございました。

給油所は閉店となりますが、閉店後の対応は西部給油所にて行いますので、今後ともJA事業への変わらぬご愛顧をよろしくお願いいたします。

西部給油所 五島市岐宿町中嶽1948-1 TEL 83-1756

施設作業員募集

作業期間

作業場所

3月～11月 育苗センター

3月～10月 アスパラ選果場

12月～5月 ブロッコリー選果場

12月～3月 高菜加工施設

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。

☎0959-72-6214

富江トマト選果場作業員募集

作業期間 9月中旬～6月中旬

作業場所 山手トマト選果場

(富江ライスセンター横)

詳細は富江支店 営農経済課までお問い合わせください。

☎0959-86-2111

華儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう華祭
斎場 浄倫会館

事前相談受け付けております。

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450

TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7

TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1

電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～19時（4月～9月）

9時～18時30分（10月～3月）

※農家レストランは10時30分～15時（予約については別途）

※土日限定バイキング 11時～15時

料金 大人：1,200円 子ども：650円（小学生以下）

休業日：棚卸日（9/末、3/末） 年始（1/1・2・3）

編集 後記

明けましておめでとうございます。本年もJAごとうをよろしくお願いいたします。

今月の広報誌より、従来から若干の変更を加えております。手に取って頂いてまず目についたかと思いますが、表紙のデザインを一新させて頂きました。写真の撮影は私がさせて頂きました！と言いたところですが、残念ながら私ではありません。今月号より広報担当が1人増えておりまして、カメラが趣味で写真撮影、編集の心得のある方です。今後は2人で取材に回らせて頂くことになるかと思いますが、写真について担当によって当たりはずれがあるぞ！と言われないう、「しっかりとカメラの勉強をする」を今年の抱負に頑張りたいと思います。

（長瀧 俊一）



ごとう農業協同組合

●JAごとうNo.203 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211

●<http://www.ja-goto.or.jp> ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。